



～地域とともに～

未来に向かう 潮見っ子



紋別市立潮見小学校学校運営協議会便り 第2号 令和4年8月1日

Q 学校運営協議会とは？

A 紋別市学校運営協議会規則第4条により紋別市教育委員会から任命された7名の委員と潮見小学校の管理職・職員3名の計10名が委員となった協議会です。学校と保護者、地域住民との間の信頼関係を深めることで、学校運営の改善と児童の健全育成に取り組めます。

第2回学校運営協議会 7月5日（火） 18：30～

紋別市教育委員会の名達CSコーディネーターを含め、10名で行われました。前回に引き続き、終始和やかな雰囲気で行われました。

●地域の教育資源の活用について

太田（誠）文連部長より各学年の「生活科」と「総合的な学習の時間」の活動についての説明がありました。地域の方に2年生への畑のレクチャーをしていただいたり、4年生に新聞の作り方を教えてくれたりしたことや、5・6年生が紋別の観光PRや町おこしについて考える活動について紹介しました。委員の方から地域とのつながりを軸にした素晴らしい取組みであるとのことのお言葉もいただきました。また、朝の駐車場での交通安全ボランティアと学校菜園ボランティアの活動についての報告も行いました。



●その他（いじめについて）

学校長より6月に行われたいじめアンケートについての説明がありました。その中で、「友だちからいやなことをされたことがある」との問いに「ある」と答えた児童全員に聞き取りを行い、実態の把握に努めると共に、学校全体で対応していくことを確認しました。また、「いじめは許されないことだと思いますか」との問いに「思わない」もしくは「わからない」と答えた児童が約20%もいました。これを「0%」に近づけていき、いじめは絶対ダメだと自信をもって言える子を育てたいとの話があり、委員も協力していくことを確認できました。この後、委員たちのいじめに対する懸念事項や願い、保育所の実態、子どもの規範意識、昔と今の子どもたちを取り巻く状況について意見交流を行いました。



●今後の予定

学校運営の改善と児童の健全育成を更に進めるため「熟議」を行います。「熟議」では学校と地域の想いや願いを共有し、これからの学校教育の在り方について考えていきます。